

兵庫の川サミット連絡会・通信

Vol. 22



# かわせみ

発行日  
平成19年5月25日

発行  
兵庫の川サミット  
かわせみ編集部

## 第3回 兵庫川の旅

### 「千種川源流～中流を旅する」

## 8月18日（土）～19日（日）



夏は川での活動も活発に行われる時です。千種川でも多様な企画が予定されています。今回はそれらの活動も含め千種川を訪れたいと思います。

千種川圏域清流づくり委員会の横山正さん（本会会員）と委員会のメンバーにお願いし、川遊びイベントにも参加し、源流～中流域を見て回ります。県内でも4番目に大きな千種川。1度ではとても回りきれませんので、11月3日の河口でのイベントにあわせ2回に分け企画しました。

夜はアユ料理も楽しみながら、参加者との交流を深めたいと思います。

千種川圏域清流づくり委員会は平成12年千種川流域の当時の2市7町（相生市、赤穂市、上郡町、佐用町、上月町、南光町、三日月町、千種町、山崎町）の住民と市町職員が

集まり準備会を発足。多くの議論が交わされ、千種川を知る、親しむ、まもる、連携するを目的に14年委員会が設立しました。

広域の活動エリアであるため、その苦勞もありますが、自然環境に恵まれた千種川ならではの活動やイベントを活発に展開中です。

昨年は夏に「川魚をとって食べよう！」秋に「川と海の接点を探る 磯の生物観察」冬に「冬の河原で遊ぼう」などのイベントや5年も続いている「川の体温を計ろう！」では100近いポイントで一斉に水温を計り、これにより興味深い調査結果が出ています。



4月千種川河口で開催された汽水域生物観察としじみ堀で説明をする横山正さん（中央）

### 第3回兵庫川の旅 千種川の源流～中流を旅する

**日時**：19年8月18日（土）～19日（日）

**募集定員**：20名 先着順に受け付けます。

**集合**：参加者の多い都市部（三田市、福崎）から出発予定

**行程**：中流～源流のブナ林までの清流のポイントを千種川の番人・横山さんと一緒に旅します。

18日はたたらの里学習館、ブナ林散策、19日は南光町の昆虫館、馬ヶ淵、川遊びイベントにも合流予定。参加申し込み（予約）の方には詳しく連絡します。2～3Pを参照下さい。

**宿泊**：料理旅館 瀧長 宍粟市千種町黒土 Tel.0790-76-2300 ～高原の香り～をゆったりと純和風のお部屋で…

**参加費**：18,000円 宿泊（2食付）、交通費を含む。

**予約・申し込み方法**：お名前、連絡先をFAX・はがき・メールで兵庫の川サミット連絡会事務局へ  
\*キャンセルは旅館のキャンセル料が発生する場合その費用を請求します。

# 千種川流域

## 情報マップ

### ▼千種川の番人 横山正さんのホームページから▼

**4月22日(日)** 春のイベントと総会(赤穂市真砂潮止め堰の下流)稚アユの遡上観察・汽水の生物観察

★今年はアユの遡上がほとんど無い、と言った非常事態でした! 原因不明です!

**3月18日(日)** 人と自然の博物館「川づくりフォーラム」で活動報告

★寝屋川、大和川と並んで報告を行いました。ただ千種川はあまりにも自然が残っているため、住民の問題意識が高まらないところに問題がある事を発見しました!

★**6月17日(日)** 武庫川流域シンポジウムにパネラーとして横山が参加します。

★**8月5日(日)** 第6回 夏の一斉水温調査。流域100地点の水温を一斉に測ります。☆温度計一本でできる簡単な調査です。是非参加協力をお願いします!

★**8月19日(日)** 夏のイベント じゃぶじゃぶ川遊び 佐用町長林 ひまわり館周辺の千種川河川敷

★**11月3日(日)** 秋のイベント 河口のアサリを救え!

外来種のサキグロツメタによる食害が始まる前に、みんなで捕獲除去しましょう!

☆「千種川の日」制定される! 毎年8月第1日曜日を千種川の日とし、清流を残す意識を高めようということとなりました。

☆前代表、内海功一先生に「河川功労賞」表彰が確定!

千種川の守り神とも言われる先生、ご苦労様でした。これからもみんなの心の支えとして長生きしてくださいね!

千種川の紹介を簡単にしましたが、天候などにより変更があることを御承知下さい。また、時間に余裕ができた場合は他の所を立ち寄ることもできます。皆様のご要望をお聞かせ下さい。

### ちぐさという名前

千種川の最上流に位置する千種町は播磨風土記で「敷草の里・・・」と紹介されており、百草千草が生い茂り、“草を敷きて神座となしき(草を敷いて神のしとねとした)”ことから敷草村と言われていました。

日本海型気候と瀬戸内海型気候の両方の影響を受け、標高差のある地形を持つ独特の自然条件により、古代から植物の分布が豊かだったことがわかります。

豊かな自然に恵まれた千種町は、百草千草→千草→千種という名前に変わっていったといわれています。

清流、千種川の源流は穴粟市千種町西河内の江浪峠(中国山地、標高1098m)付近に源を発する。中流域で志文川・佐用川および鞍居川を合せ、上郡町の市街地東部をかすめ、赤穂市東部の坂越を通り赤穂市尾崎と赤穂市中広の境界から播磨灘に注ぎます。

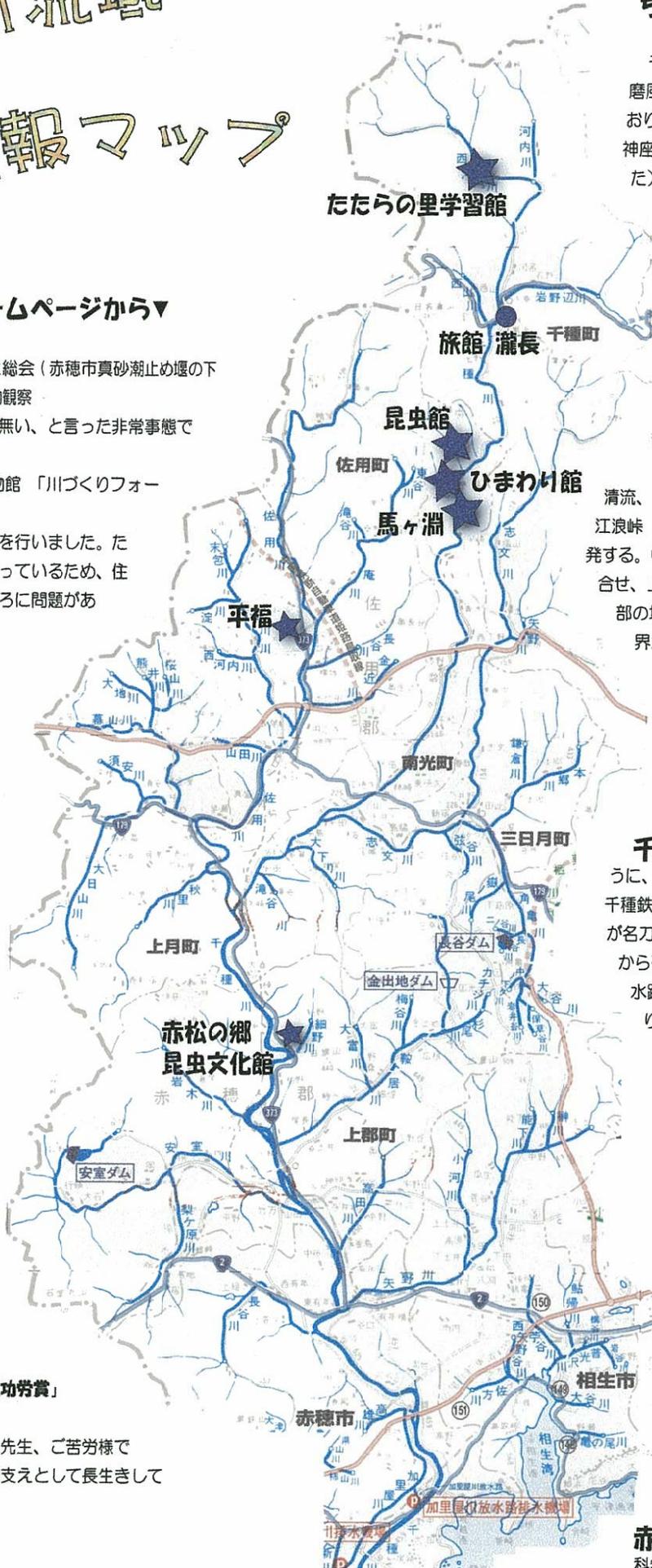
河川延長は約67.6km流域面積は約747.9km<sup>2</sup>(56の支流) 県内4番目の大きな河川で、上流の地質は中生代の花崗岩類で、きれいな水と関係が深いといわれています。

**千種鉄** 播磨風土記にも記されているように、千種町は古代より砂鉄の産地であり、千種鉄または穴粟鉄と呼ばれる良質な磁鉄鉱が名刀の原料として使われていました。土砂から砂鉄を採集するために川から水を引いて水路を作りますが、今でもその水路跡があり、村ぐるみで行っていた鉄づくりのたたらりの面影が残っています。

**昆虫館** 昆虫研究者として有名な故平山修二郎氏が、東京「平山博物館」に所蔵していた世界各国の珍しい蝶・昆虫類の一部など約4,000種 30,000頭の展示がある。また年間を通して飼育展示されている。

**平福の川端風景** 400年ほど前の戦国の時代に平福は城下町でしたが、その後因幡街道随一の宿場町として栄えていました。今でも旧街道沿いに古い商家が見られ、佐用川沿いには土蔵や川座敷が建ち並び川端風景が見られます。

**赤松の郷昆虫文化館**は昆虫の自然科学と暮らしにまつわる昆虫の民俗文化を中心に常時展示している常設展と、暮らしとその季節にあわせた昆虫をテーマにした企画展を開催しています。



## 本の紹介



「水の名前」 内山りゅう著

平凡社版 2500円

## 水の綾 みずのあや

風などによって水の流れが斜めに交わり、水面にできた模様などを「水の綾」という。織物や書、日本画などで用いられる模様の名ともなっている。あまりにも有名な尾形光琳の「紅白梅図屏風」に描かれた川も、こうした「水の綾」で水を表現したものの一つである。写真の存在しない時代、形も色もない「水」を描くことは、鋭い感性と感覚を持ち合わせた表現者でなければできなかったことだろう。そういう水をどう写し取るかということも、撮影する者の楽しみではないだろうか。(本文より)

著者の写真が多数掲載。読み進むにつれ一緒にカメラを担ぎ、水にもぐり、1年を過ごしたような感覚を味わう。美しい日本語をもっと使いたい。

## イベント紹介

◆「水生生物調査指導者技術講習会」開催のお知らせ  
水生生物調査は、河川に生息する水生生物を指標とした身近な水質調査の方法であり、地域の水質保全意識の普及啓発や環境学習・教育の場として、県内をはじめ全国各地で実施されています。

兵庫県では、水生生物調査の普及啓発を図るとともに、地域における環境学習・教育を推進するため、水生生物調査の指導者育成、技術レベルの向上を目指した講習会を開催します。

※講習内容は各会場とも同じです。

ご都合のよい日、会場をお選びください。

■講師：小川 剛氏  
(兵庫県立健康環境科学研究所主任研究員)

■定員：各回とも30名(先着順)

■受講料：無料

■講習の内容

【午前】水生生物調査の方法、水生生物の種類と評価の方法等の講義

【午後】河川に入っの水生生物採集・採集した水生生物の顕微鏡を使っての観察及び同定、分類・調査結果についての評価

■講習会の日程・開催会場・主催県民局  
(※開催時間はいずれも10時～16時です。)

6月5日(火) 神河町地域交流センター

中播磨県民局

6月7日(木) みどりの健康舎ゆう・あい・いしい  
西播磨県民局

6月14日(木) 加美公民館

北播磨県民局

6月19日(火) 南あわじ市サイクリングターミナル  
淡路県民局

6月21日(木) ほたるの里  
但馬県民局

6月28日(木) 猪名川町ふるさと館  
阪神北県民局

7月5日(木) 青垣住民センター  
丹波県民局

■お問い合わせ先：兵庫県 健康生活部 環境政策局  
環境学習課 事業運営係

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL 078-362-9895 FAX 078-362-4024

<http://www.kankyo.pref.hyogo.jp/JPN/apr/index.html>

## 事務局よりお知らせ

★同封のチラシは次回川の旅の案内人、横山正さんもパネリストとして参加。その他のパネリストもぜひ一度お話を伺いたいと思っていた人たちです。ぜひご参加ください。★イベント情報など事務局までお知らせください。

★川の旅の行き先などご希望をお寄せ下さい。できるだけ皆様のご意見を取り入れていきたいと思っています。

編集後記 川の旅の旅館、貸し切りです。ツアーは参加できないけれど、夜だけでも楽しみたい方大歓迎です！年1回でも会って情報交換をし、日々の活動に活かしましょう。事務局も皆さんとお会いすることが何よりの励みになります。



兵庫の川サミット連絡会 事務局 池田 幸恵  
677-0101 兵庫県多可郡多可町八千代区大屋469  
TEL & FAX 0795-37-1619  
Eメール yukisan@memenet.or.jp  
URL <http://www.sasayuri.ne.jp/user/noutou/kawa.htm>